

# 2019参院選の面白さを 新聞は伝え切れたか

朝日新聞政治部編集委員  
曾我豪

- \* 国民投票容認の衝撃
- \* 安倍首相の巧妙なやり口
- \* 頭の中は憲法改正
- \* 焦点は幹事長人事だった
- \* 改憲の中身と道筋
- \* 早期解散の可能性は低い
- \* 権力批判と権力監視
- \* 改憲と公明党の本音
- \* れいわとN国浮上の意味
- \* 生ぬるい報道の背景



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は朝日新聞の曾我さんにおいていただきました。夏場はあまり政治的な動きがありませんでしたが、つい最近内閣改造がありましたので、それも含めて、参院選後の自民党がどう動いているのか、特に憲法改正がどうなっていくのかといったあたりをじっくりお話しいただけるとと思います。それでは曾我さんよろしくお願いたします。（拍手）

## 国民投票容認の衝撃

曾我 こんにちは。朝日新聞の曾我と申します。今回もよろしくお願いたします。

ここ数年、時々呼んでいただいて、私にとつては非常に大きい会です。新聞記者は毎日の仕

事に追われているところがあって、立ち止まってゆっくり先のことを考えたり、10年単位で振り返ったりという機会がありません。10年単位で振り返ら、年に1回でもここに呼んでいただくと、自分がやってきたことを考え直す非常にいい機会になります。

ご紹介があったとおり、参院選が終わって1カ月ぐらいですが、新聞記者は参院選の意義をちゃんと伝え切れていたのか、それはダメだったのではないかと反省がありました。正直、今朝起きて朝刊を読んでいたら、日経新聞にテレビ東京と日経がやった世論調査の結果が出ていました。私は今日いろいろなことを話そうと思っていましたが、そのニュースを見てほとんど全て飛んでしまった。非常に驚きました。